
妹子と太子が勇者になったそうです

次村陣八

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

妹子と太子が勇者になったそうです

【NZコード】

N4024N

【作者名】

次村陣八

【あらすじ】

何時もの様に過ごす太子と妹子。

しかしその生活に異変が！

かなり短いです 続編あり、現在制作中（何時になるかわからぬ
いが）*キャラ崩壊がもしかしたらあるかも

(前書き)

やってしまった。やってしまった。ま、後悔も反省もしていない
ナビ(笑)

監さんおまよのいります。僕は遣隋使で有名な小野妹子です。今は知らない國の王様と会話をさせられています。

「どうしたんですか、太子？ 今日は元気ないですね、押し黙っちゃつて。」

「うん...ニヤ、エーリカもしなこよ。せいで、カニを食べぬと無口になら
つてこいんだね...」

「いやあんた今力一食つてないだろ！」

何時もこんなコントから始まる会話は、小さな丘に座つてゐる聖徳太子と小野妹子によるものだつた。

「うん… 実は今考てる謎々のキレが悪いんだ。」

「切のが悪いのいつものことでしょうが太子」

「酷い...」

またまた「ソトを始める妹子と太子。そんな時だつた！

「ん？ あれは何でしょうか太子？」

遠くに飛んでいるコトノを指さしながら。

「ああ、 あれはフイッシュ・竹中さんの飛行艇だよ？」

「ええー…そいつなのー！」

「君も墨汁戦隊スミレンジャーの一員だつたらちやんと覚えておくのだぞ！」

「だから何ですかー・スミレンジャーってー。」

こんな言い合いしながら近づいてくるコトノ、遂には一人の頭上に到着し

「うわー！ なんですかこれーはー！」

一人を吸い上げた。

* *

そして冒頭に戻る。

「おお、 よく来てくれた。」

王様（イメージとしては白血球王（偽）を想像してほし）は話しかけてくる。

「何なんでしょうね、 この人は。」

「私に聞かれても困るな」

「そうですか…てつきり太子の親友がと思いましたよ」

「どういう意味だこらーー！」

因みに上の会話はすべて小さい声、ぶつちやけヒソヒソばなしである。

「とにかくいきなり人を攫つよつた輩ですから、まずは様子を見ましょう。」

「そうか、そうだな。私今日肌ざらざらだし」

「だからあなたの肌はどうでもこよーー！」

「名を名乗れよ、我が国の英雄よ…」

「えと、この人はうんこ大好き、『うんこ丸』君です」

『ガーン』

「そして僕はええと…」

「ケツ妹子です！」

『ガーン』

「ちょっと太子何言つてんですか！」

「え？違うの？」

「違うわボケエエー！」

「そりが、それでは改めて言わせてもらひ。うんこ丸君、ケツ妹子殿。この国を救つていただけますか？」

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連＝横書きという考えが定着しようとっています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4024n/>

妹子と太子が勇者になったそうです

2010年10月9日16時58分発行